

離島以外で、日本一早く初日の出が見られる場所はどこか。

- (A) 北海道納沙布岬 (B) 千葉県犬吠埼 (C) 富士山頂 (D) 和歌山県潮岬

太陽は、朝になると必ず東から昇る。毎日繰り返されるこの現象を、我々は特別に意識することなく暮らしている。しかし、日本人は、一年に一度、元日の朝だけは敬虔な気持ちで初日を拝む習慣をもっている。日の出が望める全国各地の海岸や山には、この日ばかりは未明のうちから多くの人々が集まり、それぞれの思いを抱いて日の出を迎える。関東では千葉県犬吠埼、関西では三重県二見浦や和歌山県の潮岬などが初日の出スポットとして有名である。

では、その初日の出を日本で一番早く見ることのできる場所はどこだろうか。
早く日の出を見るには3つの法則がある。

- より東へ行くこと…東へ経度で1度進むごとに約4分早くなる
- より南へ行くこと…南へ緯度で1度進むごとに約2分30秒早くなる
- より高いところへ行くこと…200m高くなるごとに約1分早くなる

この3条件からいえば、日の出がもっとも早いのは日本最東端の南鳥島である。ただ、この島へは、残念ながら一般人は渡航できない。そうすると小笠原諸島、次いで八丈島あたりだ

が、離島ではなく本土ではどこだろうか。

本土に限ってみると、もっとも早く日の出が見られる場所は、じつは富士山頂である。3776mのその山頂は、200km東にある犬吠埼より4分早く太陽を見ることができ、地球が丸いためだ。ただ、この季節の富士登山はちょっと一般人には大変だ。近年、気軽に初日の出が拝める場所として人気が高まっているのは、各地の高層ビルや×タワーなどと呼ばれるところである。これも人気のある施設は予約制になっている。

◆初日の出時刻(2007)

納沙布岬(北海道)	6時49分
犬吠埼(千葉)	6時46分…本土の平地でもっとも早い
南鳥島(東京)	5時27分…日本の領土でもっとも早い
小笠原母島(東京)	6時16分…人が住んでいる場所でもっとも早い
富士山頂	6時42分…日本本土でもっとも早い
東京タワー	6時48分…都内ではもっとも早い
二見浦(三重)	6時59分
福岡	7時22分
与那国島(沖縄)	7時32分…日本の領土でもっとも遅い

答 (C) 富士山頂

